

第5章 項目応答理論 (修正・追記 2019年2月14日)

1. p. 112 (5-6-3 節) 図 5-10a の R コードの 4 行目

欠損値が存在する行を含めて分析を実行するための引数の記述 (`na.rm = TRUE`) が必要ですので、以下のように追加してください。

```
#データセットの読み込みと総正答数の算出
```

```
dat <- read.csv("2PL3PL.csv", header = TRUE)
```

```
dat <- dat [, -1]
```

```
total <- apply(dat, 1, sum, na.rm = TRUE) #欠損値を含む行を削除せずに処理する
```

図 5.10a データの読み込みと素点合計の算出

2. データファイル “2PL3PL.csv” に不具合があったので差し替えています。

3. p.113 中、表 5.8 の記述統計量

上記の欠損値を含めた分析により、下記のとおり本文と異なります。

表 5.8 記述統計

	<i>N</i>	Mean	<i>SD</i>	Skew	Kurtosis
テスト得点	2299	11.82	3.68	0.14	-0.19

注. 22 項目

4. p.115, 表 5.10 の Median の値

—0.20 → 0.20

5. p.116, 図 5.14a の 6 行目 「“ファイル名.csv”」 は、任意のファイル名を入力するという意味です。(例. ability_result.csv)

6. p.117 中、図 5.16a

項目特性曲線 → 項目情報曲線

7. p.118 中, 図 5.16b, 図 5.16b の図タイトル

項目情報関数 (全項目) → 項目情報曲線 (全項目)

項目情報関数 (項目 1) → 項目情報曲線 (Item 1)

8. p.127, 本文 1 行目の推定結果ファイル名

2PL3PLEQPara.csv → 2PL3PLEQParaResult.csv

9. irtoys パッケージにおける関数の引数 (オプション) および解析過程の詳細については, 以下の URL をご参照ください。

<https://cran.r-project.org/web/packages/irtoys/irtoys.pdf>